



令和元年度

学校だより

令和2年1月7日
横浜市立高田小学校

1月号

「年のはじめに」

校長 金子 一雄

新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、皆様のご多幸を心よりお祈り申し上げます。また、昨年は、高田小学校の子どもたちのために、運動会やペース走、音楽朝会、土曜参観等で、たくさんのご支援・ご協力をいただきましてありがとうございました。心より感謝申し上げます。本年も子どもたちが健やかに成長できますよう、教職員一同心をひとつにして頑張ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今日から後期の後半が始まりました。久しぶりに会った子どもたちから元気なあいさつが返ってきたことを大変うれしく思います。おかげさまで、冬休み中大きな事故やけがもなく過ごすことができ、安心しているところです。12月後半から、インフルエンザによる欠席が増え学級閉鎖が続き、ご心配をおかけしました。市内では、まだまだ流行が続いているようです。引き続き「手洗い」「うがい」「マスク着用」など感染防止に努めてまいります。ご協力よろしく願いいたします。

現在、高田小学校では、5、6年生の代表児童で構成する運営委員会が、「高田小学校をもっともっと居心地の良い学校にしよう」という取組を行っています。「廊下の右側をあるこう」「あいさつをふやそう」「階段や廊下をきれいにしよう」「ぼかぼか言葉をふやそう」という4つを、居心地をよくするための具体的な行動とし、週ごとそのうち1つを重点的に取り組んでいます。昼の放送を使ったり、昇降口に模造紙に大きく書いて掲示したりして、全校児童に呼び掛けてその意識をたかめています。この取組は、児童自身の発想から生まれたもので、たいへんすばらしいことだと評価しています。

その取組を推進するという意味も込めて、12月の最後の全校集会で「ペイフォワード」という言葉を、児童に紹介しました。「ペイフォワード」とは、英語で直訳すると「先に払う」の意味ですが、これは組織や社会に所属する一人ひとりの人間が無償のボランティアを提供しあう優しい関係性を表現する言い回しです。「ペイフォワード」の仕組みはこのようなものです。AがBに優しい行動を与える。BはAに恩を返すのではなくCやその他の人に与える。Cやその他の人はAやBに対して恩を感じながら、次の世代に恩を返す。これが繰り返されることで、優しい行動が広まっていき、やがていつの日かAやBにも、だれから優しい行動を受ける時がくる。というものです。少し理想的すぎるかもしれませんが自分の行動が、相手のためになるだけでなく、社会全体をよくする出発点となり、それはやがて自分に返ってくるもので、そのようなやさしさの循環社会を作っていこうというものです。高田小学校の運営委員会の取組はボランティアではありませんが、廊下の右側を歩く人を見て、一生懸命階段や廊下をきれいにする人を見て、あいさつをしている人を見て、あるいは、ぼかぼか言葉を投げかける人を見て、それが全校にとってよいことだと感じ取り、同じように取り組む人が増えていったら素晴らしいことだと話しました。この取組が大きな成果をあげるよう見守っていきたいと思います。